

蓼科情報は 誰もが心地よい
情報環境を提供します

リアルタイム管理の実現 シフト管理の充実
JUST FITな WEB勤怠管理システム



選べる2つのタイプ



Tateshina Intelligence Co., Ltd.

蓼科情報株式会社

〒115-0055 東京都北区赤羽西1丁目7番1号 パルロード3

TEL 03-5963-7281(代) FAX 03-5963-7287

ホームページ <http://www.tatesina.co.jp>

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会

SAI-PRESS

サイプレス

2013.10 Autumn

Vol. **78**



「埼玉県への情報化推進に関する提言」
の回答を受ける

学校と企業の就職交流会開催

埼玉大学提携講座「情報と職業」

彩の国ビジネスアリーナ2014開催迫る

GALLERY

タイ・バンコク



<ワットアルンからの眺望>

タイ王国（タイおうこく）、通称タイは、東南アジアに位置する立憲君主制国家。東にカンボジア、北にラオス、西にミャンマーとアンダマン海があり、南はタイランド湾とマレーシアである。国土はインドシナ半島の中央部とマレー半島の北部に位置する。首都はバンコク。日本はタイにとって最大の貿易額と投資額、援助額を持ち、日産自動車やホンダ、トヨタ、いすゞ、日野自動車などの自動車関連企業の多くが進出している他、空調メーカーであるダイキンといった家電メーカーなども多く進出し、国内市場への供給を行っている他、関税特典があるASEAN諸国内への輸出拠点として活用している。（タイ王国 - Wikipediaより）



<王宮>



<ワット・ブラ・ケオ>



<チャオプラヤー川のほとりに建つワット・アルン>



<ワット・ボー>

GALLERY

ミャンマー・ヤンゴン

ミャンマー連邦共和国（ミャンマーれんぽうきょうわこく）、通称ミャンマーは、東南アジアに位置する共和制国家。1989年までの名称はビルマ。インドシナ半島西部に位置し、北東に中華人民共和国、東にラオス、南東にタイ、西にバングラデシュ、北西にインドと国境を接する。首都はネピドー（旧首都はヤンゴン）。多民族国家でありビルマ族（人口の6割）の他、主なものとして、カレン族、カチン族、カヤー族、ラカイン族、チン族、モン族、ヤカイン族、シャン族の少数民族がある。（ミャンマー - Wikipediaより）



<ヤンゴンの街並み>



<アウンサン邸>



<シュエダゴン・パゴタ>



<シュエボード・パゴタ>



<チャイアップンパゴダ・四面仏像>



SISIA

SAI-PRESS

Vol. 78

2013.10

autumn

いつも新鮮 SISIA のコンテンツ

<http://www.sisia.or.jp/>

「埼玉県への情報化推進に関する提言」の
回答を受ける ……2

学校と企業の就職交流会 ……6

「彩の国ビジネスアリーナ2014」開催
出展企業受付メ切迫る ……10

地域連携事業

平成25年度

第1回埼玉IT経営ネットワーク会議開催報告 ……12

埼玉大学提携講座「情報と職業」 ……14

アジアオセアニア・コンピュータ産業機構
ICT サミット 2013 参加報告 ……22

ビジネス交流会 開催 ……25

25年度上半期研修会開催 ……26

「埼玉県内16大学合同企業説明会」に参画 ……27

第18回チャリティゴルフコンペ開催 ……28

行事報告 ……29

会員企業動向 ……29

ポリテクセンター埼玉
オーダーメイド型セミナーのご案内 ……30

編集後記・編集委員 ……34

広告掲載企業
一覧

掲載順

●エレクス(株)……………3	●ミツイワ(株)……………31
●関東図書(株)……………4	●三田電子ケイサン(株)……………31
●AGSビジネスコンピューター(株)……………5	●(株)三和システムフォーム……………31
●(株)ソルパック……………9	●(株)フジミック埼玉……………31
●(株)日東テクノブレン……………9	●(株)埼玉電算センター……………32
●ノグチコンピュータサービス(株)……………9	●中央情報専門学校……………32
●日研システム(株)……………9	●AGS(株)……………32
●ぶぎんシステムサービス(株)……………11	●(株)アイネット……………33
●(株)ティー・アイ・シー……………13	●(株)デマンドアンドコミュニケーションズ……………33
●パシフィックシステム(株)……………21	●夢科情報(株)……………表4
●(株)ハツコーエレクトロニクス……………28	

「埼玉県への情報化推進に関する提言」 の回答を受ける

～埼玉県産業労働部 商業・サービス産業支援課より～

6月28日(金)埼玉県産業労働部商業・サービス産業支援課新里課長に岩寄副会長より提出した提言書に対し、9月17日に回答書を受領致しました。

(1) 提言 1…

東日本大震災の教訓から、埼玉県の各企業が実感した地域的な優位性を活かし、最先端のITを活用した安全・安心で未来志向の街づくりを促進する必要があります。

そのために、優先的に取り組む施策として、まず、「安全・安心の確保」のため、県内企業、地方自治体の事業継続計画(BCP)策定比率の向上、強化推進をさらに図る必要があります。

① 被災を契機に地方公共団体でもインターネットの活用を強化したり、事業継続計画(BCP)策定の動きはあるが、BCP策定状況は、都道府県レベルで約40%、市町村では3.5%にとどまっている(24年度情報白書)。

一方、民間企業でも認知は高まっているものの、策定済み企業は、大企業で30.9%、中小企業では8.6%と策定率が低く企業規模によって格差は大きい(帝国データバンク)。特に、「BIA(事業影響分析)」、「教育訓練」、「維持改善」等が実施されている例は少なく、ITサービス継続マネジメントシステムがまだまだ確立されていない。

是非、県内の関係企業、地方公共団体等に対し、ITサービス継続の重要性を再認識するため、重要業務と復旧手順を定めたBCP対策を策定する企業・地方公共団体数が増加するよう補助金制度適用も含めてご検討いただきたい。

県内企業のBCP対策に対する支援

【回答】

現在埼玉県では、(公財)埼玉県産業振興公社に対して補助し、BCPセミナーを実施し普及啓発を進めております。また、個別企業のBCP策定については、専門家派遣のほか、公社職員による助言も実施しております。引き続き、BCPの普及・策定支援を進めてまいります。

県内自治体のBCP対策に対する支援

【回答】

県は、平成24年度に「埼玉縣市町村業務継続計画策定セミナー」を開催しました。

セミナーの内容は、県内市町村を対象に、BCPの必要性や効果、策定の方法等業務継続計画策定を支援するもので、計7回実施しました。

その結果、平成25年5月末現在、22市町が策定済み、25年度中の策定予定が32市町、26年度以降の策定予定が9市町村となっています。

今後も、全市町村の策定支援を進めていきます。

(2) 提言 2…

全国的に少子化・高齢化が急速に進む中、政府は団塊世代の多くが後期高齢者となる2025年までに、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスが受けられる社会の実現に取り組むという「社会保障・税一体改革大綱」を閣議決定しました。埼玉県においても、引き続き、県民だれもが安心して心豊かにすごせる地域社会の実現を目指して、1人の患者に対して包括的なケアサービスを受けられるよう医療

環境面においても IT をさらに活用する必要があります。

① 埼玉県は、2010年1月現在、717万人と年間では3.2万人増加していますが、2020年には700万人を下回り、高齢化率も28.3%となる（国勢調査）と想定されています。このような中、我が国では、医療分野のIT化は国のIT戦略の重要な施策に位置づけ、特にシームレスな地域連携医療システムは長崎県（あじさいネット）や島根県（医療ネット島根）他、全国各地で具体的な取り組みが始まっています。

② 埼玉県においても、2012年7月から本格稼働した利根医療ネットワークシステム（愛称：とねっと）は、埼玉県東北部の「利根保健医療圏」において地域の医療機関が役割を分担連携し、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を目指した体制確立にIT技術を活用して実現をしている。

このような取り組みをさらに県内に広げていただき、医療・介護・予防・生活支援などのサービスが身近な地域で提供される仕組み作りに引き続きITを活用し推進していただきたい。

地域の医療等提供体制構築におけるIT活用の推進

【回答】

ITを活用した地域の医療連携体制の構築については、第6次「埼玉県地域保健医療計画」（平成25～29年度）の中に位置付けて推進を図っています。

当該計画に基づいて、ITを活用した「地域完結型医療」を目指してまいります。

（3）提言3…

ITの高度化が進む中、クラウドサービス・データセンターを活用した仕組み等を活用し、地域活性化連携事業の推進さらに新たなビジネスモデル創出等を目指し、あらゆる機会を通じて、地域IT需要の創出を図る必要があります。

① 埼玉県情報サービス産業協会も加入している全国組織である一般社団法人「情報サービス産業協会（以下JISA）」は、24年5月に「23年度地域活性化事業」を総括し小冊子にまとめました。主な内容は、地域におけるベンダー・ユーザー・行政機関等が連携する仕組みを構築し、地域自らが「自立自走」の精神でITの「地産地消」を実現する必要があるとの現状認識から、県単位に各種地域活性化事業、地域連携事業を推進してきております。

当協会も2011年10月より埼玉県様等のご支援を受けて、「IT利活用による地域活性化」を共通テーマに検討を開始し、当事業では、当協会が先頭に立ち、会員企業の事業領域拡大に役立つことも目指し、埼玉地区の行政・支援機関と連携した活動を進めております。

本年度も、さいたまビジネスアリーナでの商談会を通じての情報発信、支援機関情報交流の活性化推進、ベンダーから地域に向けたアプローチのための諸企画を実行する等のテーマを掲げ取り組んでおります。

協会としても、さらに地域のIT利活用地産地消実現を実効あるものにするために活動を強化してまいります。その推進には行政機関のご協力が不可欠であります。

お互いの役割に応じて「政策の実施」、「連携



Cloud Solution Provider

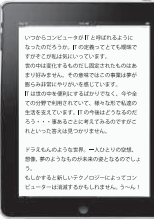
私たちの願いは情報サービスで人類の未来に貢献する事です。

お客様の目的に合わせて、柔軟なITリソースを提供し、「計画・設計・運用・効果測定」まで含めた、すべてのプロセスをサポートします。

タブレットもスマホも得意です。



タブレット・スマートフォン・PCなど、様々なデバイスでELECSのサービスを利用できます。最新の技術とノウハウを駆使し、お客様の課題を解決するための最適なソリューションを提供します。



お客様の課題を解決するための最適なソリューションを提供します。最新の技術とノウハウを駆使し、お客様の課題を解決するための最適なソリューションを提供します。



お客様の課題を解決するための最適なソリューションを提供します。最新の技術とノウハウを駆使し、お客様の課題を解決するための最適なソリューションを提供します。

WEBソリューション・システム開発 / デザイン制作 / スマートフォン / アプリ開発 (iPhone、Android) / AR開発 (拡張現実システム) / テスト事業

本社：〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-6-19 高砂パークスペースビル TEL:050-5509-4555 FAX:048-815-8167 www.elecs-web.co.jp/

体制の構築」「ユーザーへの情報発信」等の協業を加速するため、埼玉県様におかれてもより一層のご支援をお願いしたい。

IT 利活用の地産地消に向けた埼玉県の支援

【回答】

県内の IT 事業者が地域の IT 需要を取り込む「IT の地産地消」は、県内経済の活性化につながっていると考えています。IT 活用経営支援ネットワーク会議への参画などを通じて、引き続き支援をしてまいります。

(4) 提言 4…

「IT 人材白書2012」のメッセージとして～進むクラウド、動かぬ IT 人材～と明示されており、新たな技術パラダイムや事業モデルに必要な能力が不足していることが課題と認識されている。この対応力を強くするために、シニア世代や女性の活用も含め、人材の「質」の向上を図るため、当協会の活用を推進する必要があります。

① 東日本大震災を契機に、IT の「所有」から「利用」へのパラダイムシフトが起きていることを特に最近感じています。その関係もあり、BCP への関心が高まり、検討が進み始めました。その結果、クラウドコンピューティングの様々なサービスが進展し、ビッグデータに代表されるようなデータ活用の拡大、それらを利用した新たなビジネス展開が始まっていることは、前述したとおりです。

しかしながら、その環境変化に伴う付加価値を提案・生み出す「技術力」が特に中小企業およびベンダーで不足しているのが実態です。

そこで、地域 IT 人材育成、IT 企業支援を目的に設立された(株)さいたまソフトウェアセンターが残念ながら2012年3月末に解散しました。よって、その任務を当協会が継続して行いたく、行政側のご支援をいただきたい。

協会が実施する地域 IT 人材育成事業への行政的支援

【回答】

地域 IT 人材育成事業に対する行政的支援については、民間でも同様の研修を実施しており、企業・学校等の IT 教育も充実してきたことを踏まえ、平成22年度をもって終了しました。IT 企業支援施策を進める上で、新たな課題が生じた場合には、随時検討したいと思います。

(5) 提言 5…

電子申請・届出サービス、電子的納付対象税の拡大や自治体クラウドの構築を一層推進し、IT を活用した県民生活の利便性の向上を実感できる環境をさらに推進する必要があります。

① 埼玉県の県税納付は24年度から開始された自動車税（当初納付分）をはじめ税・手数料関連が電子的納付がほとんど可能となっているが、さいたま市をはじめとして固定資産税や市町村民税関連の電子納付対応が近隣諸県市町村と比較し、劣位にあると認識しています。（県内では北本市のみ実施、一部導入の動きあり）

そこで、埼玉県の IT 利活用の推進と県民サービスの拡大を図るため、市町村民税関連への電子納付環境を早期に構築するよう市町村をご指導願いたい。

写真集・歌集・句集・画集・小説・自分史・エッセイなど



関東図書株式会社



〒336-0021 さいたま市南区別所3-1-10

☎0120・161092 <http://www.kanto-t.co.jp>

**あなただけの
1冊を創ります**



市町村民税の電子納付環境早期構築に向けた市町村への指導

【回答】

地方税の電子化については、納税者の利便性向上を図る観点からも、各市町村へ周知しているところです。しかしながら、各市町村の予算事情等もあり、電子納付環境の早期構築は容易ではないものと思われます。

本県も、市町村税の電子的納付の重要性は十分に認識しておりますので、地方税の電子化に向けた取り組みの拡大を引き続き各市町村へ働きかけよう努めてまいります。

- ② 今回の震災で戸籍等が津波によって流出し、住民サービスの再開等に混乱をきたした事例が発生した。

このため、低コストで迅速な行政機能の復旧を可能とする観点から自治体クラウドの早期導入を図る必要があります。

その際、個人情報保護を最大限配慮しつつ、災害時における行政サービスや医療サービスを連携させることができる仕組みも検討が必要と考えます。

自治体クラウドの早期導入支援と災害時の仕組み作り

【回答】

自治体クラウドについては、運用コストの削減や災害発生時における業務継続性に効果があることから、県と県内市町村とで構成している「埼玉県電子自治体推進会議」において、導入可能なシ

ステムや課題等の検討を行うとともに、国や関係団体からの情報提供や市町村との共同研修の実施などの支援も行っています。

特に災害時においては、県内市町村との情報連携や県民への適切な情報発信が必要だと考えています。このため、災害に強い基盤整備や情報連携、クラウド化が可能なサービス等について、引き続き検討を進めて参ります。

<回答書に対する感想>

今回提言した5項目は、公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会として、今後、少子高齢化や人口減少、環境問題等の課題を解決し、ICTによる地域活性化及び新事業創出等の検討・推進を加速し、一段と高いICT先進県となるため提言を行ったものである。回答内容は、いずれの提言に対しても県として十分に認識しており、前向きに各担当部署で支援し取り組んでいくということであった。しかし、予算執行面では不明確な点もあり、当協会としては引き続き、埼玉県の情報化推進・情報サービス産業発展のため、提言を続けていきたい。



機器販売・導入サービス

コンサルティングサービス

～情報から価値を創造する～

ソフトウェア開発

保守・運用サービス



AGSビジネスコンピューター株式会社

(旧 株式会社シービーシー)

〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-11 さくらビル

TEL : 048-824-5080 FAX : 048-824-5419 URL : <http://www.ags-bc.co.jp>

学校と企業の就職交流会

日時：2013年10月3日(木)

第一部：15時～17時

第二部：17時～18時30分

場所：大宮サンパレス



＜小川会長挨拶＞



＜司会 坂口氏（左）、関口氏（右）＞

平成 25 年 10 月 3 日、大宮サンパレスにて毎年恒例となりました「学校と企業の就職交流会」が開催されました。

学校から 19 校 26 名、企業から 20 社 29 名が参加し、活発な意見交換が行われました。

当日は情報交換会と交流会の 2 部構成で行われ、第一部の情報交換会では埼玉県内（近郊含む）の

大学と会員企業により、採用に関する積極的で前向きな意見交換が行われました。第 2 部の立食パーティーでは埼玉県労働局の代田雅彦局長をお迎えし、埼玉県の雇用情勢や大学生に関する就職支援等に関するお話を頂き、和やかな雰囲気の中で活発な交流が図られました。

情報交換会はパシフィックシステム(株)関口氏、AGS (株)坂口氏の司会により、小川会長の挨拶によって開会しました。

小川会長からは、職業人として仕事をすることで技術やノウハウを積み上げ自分の価値を高めることの大切さや、そのような場を提供することが企業側の経営者として大事であることを話されました。

岩寄副会長からは 17 年間続いている当交流会の歴史と、このところの景況感から来る IT 業界への期待の高まりから優秀な人材を地元の IT 業界へ送り出して頂けるよう、活発な意見交換による有意義な交流会としたい旨、お願い頂きました。

続いて、出席された学校・企業の順に自己紹介を行い、事前アンケートに寄せられた質問を基にした意見交換に移りました。

意見交換の概要を以下に記述します。

（１）学校から企業への質問

Ｑ IT 業界の動向と雇用状況について

Ａ IT 業界と一言で言っても、ゲーム業界・技術者の人材派遣業・システム開発業・通信業など多岐にわたる。その中でシステム開発業については、最近の前年に比べ上向き傾向である。特に、上向きの景況感から医療系の電子カルテや地域連携、流通業（EDI）など民需系が活発で、プロジェクトをマネジメントできるスキルを持った人材を必要としている。公共系はマイナンバーの導入により今年度から大きな商談を期待していたが、現実的には来年度からの模様。

以上のことから、市場規模も今後も更に伸びる余地があり、来年度以降も業界全体では今年度以上の採用活動が行われると考えている。

Ｑ 2013 年の採用実績と 2014 年の採用予定数について

Ａ 今年は 6 名入社。来年度は 10 名の予定のところ現在 7 名内定であり採用活動継続中。学内での説明会にて多くの学生と接したため、応募者数は昨年度より増えている。

Ａ 今年は 10 名入社。来年度も 10 名の予定のところ現在 8 名内定であり採用活動継続中。大手企業の採用活動から 2 ヶ月遅れて本格的な採用活動を始めた。昨年に比べ学内で行う説明会の出席者数は増えているが、会社説明会に出席する学生の人数は少ない。

Ｑ 採用活動において、どのチャンネルを重視しているのか（ナビサイト、学内説明会など）

Ａ 就職サイトはエントリーのインフラとして使用している。会社の事を良く知って貰いたいため、学内をはじめとした説明会を重視している。

Q 中国をはじめとした東南アジアの留学生の採用について

A 当業界では文系の学生の場合、入管で許可が下りない。IT系を学んでいることが条件。

Q 推薦制度（学校推薦、教授推薦、教授推薦など）や、有償による長期のインターンシップについて

A 推薦制度は利用していないため、自由応募と特に差は設けていない。

長期によるインターンシップは制度としては有効だが、個人情報をはじめとした機密情報を取扱う当業界では、Pマークの認定や発注者側の理解などもあり、困難。

（２）企業から学校への質問

Q 2014年3月卒業予定の学生の内定状況と前年との比較について

A 全体で6割程度の内定率。業界別では建設業界の内定状況が良く7割程度。メーカー系の内定は6割程度、情報産業は5割程度で平年よりも低い。何れも各企業の状況が良くなっている影響か、求人数は昨年より多い。

A 就職希望者ではなく卒業予定者数に占める割合で3割弱の内定率。もともと学科の特徴から秋以降が就職活動の本番であるが、昨年に比べて回復傾向にある。

A 5割近い内定率。この中には、これから本格的に始まる医療系や保育・幼稚園などの教育系の学生も母数に混じっている。昨年との違いは求人数が1.5倍程度になったことと、昨年は医療系を含めて5割だったが今年はIT系や一般企業が増えて内定率が5割。

A 求人数は昨年に比べ4割程度の増加。IT系が多く、一般系、事務系、デザイン系は昨年並み。昨年の同時期は4割程度の内定率だったが、今年は5割弱。IT系は4月から活動しており8割近くの内定率。(SEコースなどではほぼ100%)

Q エントリーシートの書き方（アピールポイント）の指導について

A 成功体験だけでなく、失敗により何を学んだかを記入し等身大の自分を表現するように指導して

いる。

A 心（性格、長所や短所）・技（資格）・体（体力、忍耐力、協調性）の中で、一つ二つ掘り下げて記入するように指導している。

（３）企業と学校への共通質問

Q 2016年3月卒業予定者の就職活動について
【企業側回答】想定している採用スケジュールについて

A 大企業では影響が無いかも知れないが、それ以外の企業で優秀な学生を採用するには大変な問題。年末までには内定式を行いたいため、各大学側ともより良い関係を保ちたい。

A 就職サイトを活用したエントリーのため、必然的に3月1日開始になる。内定者教育の期間も重視するため内定式は現状通り10月1日に行いたい。選考期間は短くなるが、広報活動については先行して行い、多くの学生に当社の事を知ってもらいたい。

【学校側の回答】就職指導のスケジュールについて

A 企業側がどのように採用活動を行うのか、待っている状態。学内でのガイダンス、業界研究セミナーは早めに手を打ちたい。現在は企業側の説明会が春休みに集中しているが、今後は授業に対する影響もあるため週末の開催など考慮して頂きたい。

A 学生への就職指導のスケジュールは現状通り。春休みの活動が困難なため、3年次終了までに必要な単位を取るよう指導する。現在は1月末か2月に学内で合同説明会を行っているが、今後はどの時期に実施すれば良いか検討中。企業側が、3月や4月の合同説明会の開催に応じて頂けるのかお聞きしたい。

⇒（企業側回答）特に問題はなく、4月開催でも参加させて頂く。

A 理系の学生は8月が卒業研究のピークであり、8月以降が採用選考になることで後期の授業への影響が懸念される。現2年生にはガイダンスを通じて意識付けを行っている。

A 現状通りを想定（6月にガイダンス、8月にインターンシップ）。学内の合同説明会の開催時期については今後検討して行く。



<学校側>



<企業側>

学校と企業との就職交流会 参加者名簿

(学校側)		(敬称略)	(企業側)		(敬称略)
アルスコンピュータ専門学校	就職部 課長補佐	斎藤 力	(株)アイネット	代表取締役社長	藤澤 秀昭
	適職開発室 進路アドバイザー	坪井 満		管理部部長	斉藤 等
国立大学法人 埼玉大学	参事役	ツヅラ 廿楽 一男	AGS (株)	代表取締役社長	小川 修一
	総務部総務課広報室 渉外担当シニアマ ネージャー	富田 均		人事部 部長	野澤 幸治
	学生支援課 就職支援室長代理	大澤 宏平		人事部	石原 清彦
埼玉県立川口高等技術専門校	主任	相原 勝利	AGS システムアドバイザー(株)	エグゼクティブ コンサルタント	吉野 曠男
埼玉工業大学	就職課 次長	角田 勝政	AGS プロサービス(株)	代表取締役社長	田沼 耕三
埼玉コンピュータ& 医療事務専門学校	キャリア支援センター センター長	琴野 実	エレクス(株)	課長	長島 美奈子 帛谷 早織
埼玉県立中央高等技術専門校	主任職業訓練指導員	植野 隆	(株)シークエンス	代表取締役	根岸 克利
十文字学園女子大学	キャリアセンター	和井田 慎吾		営業第2部部長	榊原 雅夫
上武大学 高崎キャンパス	就職課長	志村 博史	システム・アナライズ(株)	部長	吉原 和弘
駿河台大学	キャリアセンター 事務部 部長	雷 光一		主任	吉田 友美絵
	キャリアセンター 事務部就職支援課課長	高塚 美保子	夢科情報(株)	代表取締役社長	深澤 陽平
聖学院大学	キャリアサポート課長	鈴木 隆		執行役員	山崎 範夫 時 夢
	キャリアサポート 課担当課長	寺嶋 健一	(株)デマンドアンドコミュニケーションズ	代表取締役社長	松島 勲
大東文化大学	東松山キャリア支援課課長	酒井 敏雅	(株)ティー・アイ・シー	代表取締役社長	小河原 清治
中央情報専門学校	進路指導主事	市川 直洋		採用・教育担当	安藤 勉
東京工科大学	参与	島田 誠治 内野 隆博		採用・教育担当	名生 忍
			ティーエスサービス(株)	代表取締役社長	岩寄 正
東京電機大学 理工学部	事務部 主事	國分 茂雄 高木 翔太	日研システム(株)	代表取締役社長	水鳥 晴夫
			(株)日東テクノブレーション	代表取締役会長	鈴木 真澄
東洋大学	川越事務部教学課 課長	前田 孝	パシフィックシステム(株)	総務部人材 GM	樋口 健二
獨協大学	キャリアセンター 次長	関口 武司	ぶぎんシステムサービス(株)	取締役社長	栗原 恒司 小澤 雪乃
日本工学院 専門学校	キャリアサポート職員	長瀬 豊	(株)フジコミュニケーション	代表取締役社長	山崎 喜久男
日本工学院八王子専門学校	キャリアサポート センター	クワナ 菜名 瞳	(株)フジミック埼玉	代表取締役社長	田中 勉 清水 義明
日本工業大学	学生支援部就職支援課	塩入 修	三田電子ケイサン(株)	取締役会長	橋本 ヒデ子
明星大学		平木 康博	(公益社) 埼玉県情報サービス産業協会	事務局長	内田 陽一

ITの上流工程から下流工程までワンストップサービスをご提供

SOLPAC

SOLPAC

@M-ASP®



ソルパックは「町のコンピューターのお医者さん」

http://www.solpac.co.jp 株式会社ソルパック

株式会社ソルパック

〒106-0032

東京都港区六本木4-1-4

黒崎ビル 8階

TEL: 03-3585-4616

FAX: 03-3585-9190

URL http://www.solpac.co.jp

経営資源
ヒト・モノ・カネ・情報

コア業務

プロセス業務
人事労務
財務会計
販売仕入
等人材
サービスシステム
インテグレーション

データ処理

日東テクノブレインに
プロセス業務をアウトソーシング勤怠・給与計算や会計処理
各種帳票の文字データの入力
Web・アプリケーションの構築・メンテナンス・運用
等経営資源
ヒト・モノ・カネ・情報

コア業務

プロセス業務

- コア業務への経営資源の集中
- 質の高いサービスの享受
- 組織のスリム化・効率化
- 定量コストの低減
- 雇用リスクの回避

Business Process Outsourcing

人材サービス Jobnitty

システムインテグレーション

データ処理



株式会社 日東テクノブレイン

http://www.nitto-tech.co.jp

0120-977-837

NCS

創業 1968 年のソフトウェアハウス

ノグチコンピュータサービス株式会社

〒338-0002 さいたま市中央区下落合1085-15

TEL 048(824)1099 FAX 048(824)1090

E-mail ncs@ncsnet.jp

URL http://www.ncsnet.jp/

業務アプリケーション開発
ERP業務アプリケーションカスタマイズ
Web関連
ホームページ作成・ネットワーク構築
システムの構築・サポート
データ入力処理

～ご用命は信頼と実績の当社まで～



『和』を大切にします

NIKKEN SYSTEM

日研システム株式会社



10821196(04)

5つの事業を展開しています!!!

- コンサルティング
- システムインテグレーション
- ネットワークサービス
- コンテンツクリエイティブ
- パッケージ

日々の研鑽により技術の向上に努め、
より良い技術サービスを提供します。

日研システム株式会社

〒160-0004

東京都新宿区四谷 4-32-1 吉岡ビル 6 F

TEL 03-3341-3971 FAX 03-3341-3973

メール ns-info@nikkensystem.co.jp

URL http://www.nikkensystem.co.jp/



「彩の国ビジネスアリーナ2014」開催 出展企業受付メ切迫る

今年の「彩の国ビジネスアリーナ2013」は、2013年1月30日(水)、31日(木)さいたまスーパーアリーナ(さいたま市)において埼玉県・公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会・財団法人埼玉県産業振興公社・地元6金融機関の主催にて開催されました。

本イベントは、中小企業の受注確保・技術力向上等を目的とし、広域的な企業ネットワーク形成による取引・技術交流の促進、新たなビジネスチャンス創出の場を提供する展示商談会です。

2013年は783小間の展示ブースを設け、「次世代産業」、「加工技術・部品」、「製品」、「ITソリューション」、「エネルギー・環境」、「グローバルビジネス」と、多様なゾーンを展開し、556企業・団体がご出展しました。

また、「次世代産業ゾーン」では、招待出展企業として、「宇宙航空」、「次世代自動車」、「医療福祉」、「エネルギー・環境分野」の先端企業、様に最新の技術・製品をご展示され、出展者や来場者との交流を図られました。

当協会は地域連携事業の一環として、従来の「IT・情報通信」を改名し「ITソリューションゾーン」を設営し、37社45小間が出展、特設のプレゼンコーナーでは6社がプレゼンスを行うとともに「IT何でも相談コーナー」を設置しIT利活用の推進・企業IT動向調査を実施しました。

来場者は2日間で16,478名(初日:8,823名、2日目7,664名)という過去最高を記録するなど、企業間取引における国内最大級の展示商談会となりました。

会場内講演会場では当協会主催で「中小企業のビジネス革新」と題して、ソフトバンク・モバイル社の首席エグゼクティブの中山五輪氏による講演を開催150人余の参加を得ました。

また、同時開催イベントとしてウーマノミクスフェア、産学連携フェアをはじめ、下請取引改善講習会、埼玉県ビジネス懇談会、ながのモノづくり技術展、九都県市合同商談会、産学連携促進会といった

多数のイベントが催され、会場は大いに盛り上がりました。

そして、来年の「彩の国ビジネスアリーナ2014」も前回を上回るべく、さまざまな企画・イベントを実施いたします。会員企業皆様のビジネス開拓推進に活用ください。

「彩の国ビジネスアリーナ2014」開催要領

1 実施目的

中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上を促進するため、広域的な企業間連携等による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する。

2 実施名称 「彩の国ビジネスアリーナ2014」

3 実施日時

平成26年1月29日(水) 10:00~18:00・
30日(木) 10:00~17:00

4 実施場所

さいたまスーパーアリーナ
(埼玉県さいたま市中央区新都心8番地)

5 実施体制

- (1)主催 埼玉県、公益財団法人埼玉県産業振興公社、公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫
(2)共催 公益財団法人埼玉りそな産業経済振興財団、公益財団法人全国中小企業取引振興協会、公益財団法人茨城県中小企業振興公社、公益財団法人栃木県産業振興センター、公益財団法人群馬県産業支援機構、公益財団法人千葉県産業振興センター、公益財団法人長野県中小企業振興センター、公益財団法人東京都中小企業振興公社、財団法人にいがた産業創造機構、埼玉県信用保証協会
(3)後援 経済産業省関東経済産業局、さいたま市、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉職業訓練支援センター、株式会社日本政策金融公庫さい

たま支店、一般社団法人情報サービス産業協会、社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、一般社団法人埼玉県経営者協会、埼玉経済同友会、埼玉中小企業家同友会、朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞社さいたま総局、テレ玉、日刊工業新聞社さいたま総局、日本経済新聞社さいたま支局、フジサンケイビジネスアイ関東総局、NHKさいたま放送局、毎日新聞さいたま支局、読売新聞さいたま支局、独立行政法人日本貿易振興機構、関東貿易情報センター

(4)協力 株式会社さいたまアリーナ、埼玉東部ヤクルト販売株式会社

6 実施概要

(1) 出展者による技術・製品・サービスの展示

出展者が自社製品・加工品を展示し、自らの技術力を積極的にアピールするとともに、来場者との商談や出展者間における情報交換・商談等を行う。

(2) セミナー・講演会の実施

最新の技術動向や企業経営に資するテーマのセミナー・講演会を開催する。

7 同時開催イベント

(1) 広域商談会

発注企業と出展者が面談形式により、具体的な発注案件に基づいた商談を行う。

(2) 産学連携フェア・産学連携促進交流会

工科大学及び研究機関の研究テーマ・成果を基に共同開発等に向けた情報交換を行う。

(3) 東部工業展

埼玉県東部商工地区および近隣地域の工業者による技術・製品の展示。

8 出展対象 原則として、埼玉県及び隣接都県に事業拠点を有する企業・団体等

9 出展規模想定 700小間

10 来場者数想定 16,000人

11 運営事務局

彩の国ビジネスアリーナ2014実行委員会事務局
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル10F
(公財)埼玉県産業振興公社内
TEL: 048-647-4086 FAX: 048-645-3286
Email: assen@saitama-j.or.jp

■ 埼玉ネットワークサービス

お取引先(集金先)の取引金融機関から、早くそして安い料金で口座振替により各種代金を回収するサービスです

■ 給与計算サービス

複雑な給与計算業務を代行するサービスです

■ コンサルティング業務

お客様のニーズに合ったソフトウェア開発、ハードウェア導入などシステム導入におけるトータルサポートを行います

■ プライバシーマーク取得支援

プライバシーマーク取得のための支援を行います

■ EBサービス相談

オフィスの合理化、資金管理の効率化を実現します

■ ソフトウェアの開発

パソコンソフトの開発を行います

■ パソコン及び周辺機器販売



BEST
SATISFACTORY
SUPPORT

武蔵野銀行グループ企業として、県民の皆様
に役立つことを企業使命に、お客様に満足し
ていただける最良のサポートを提供します

ぶぎんシステムサービス株式会社

〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-307
武蔵野銀行事務センター内
Tel (048)644-8510 Fax (048)642-9108

// <http://www.bugin-bss.co.jp>

平成25年度 第1回埼玉 IT 経営ネットワーク会議開催報告

ビジネス部会長 矢吹 武重



—昨年より取り組んでまいりました「地域連携事業」における各支援機関の方々との重要な会議体である「埼玉 IT 経営ネットワーク会議」における本年度第1回目の会議が、平成25年7月17日に浦和の埼玉会館7A会議室において実施されました。ご参加いただいた支援機関の皆様は以下の通りです。

- ・経済産業省関東経済産業局地域経済部情報政策課 課長補佐 長島由記様
- ・埼玉県産業労働部産業支援課 課長 堤清様
- ・埼玉県産業労働部商業・サービス産業支援課 副課長 吉永康明様
- ・埼玉県産業労働部商業・サービス産業支援課 主査 竹内友真様
- ・公益財団法人埼玉県産業振興公社総務企画部研修・情報グループ 主査 武井英樹様
- ・社団法人埼玉県商工会議所連合会 総務課長 井上和紀様
- ・埼玉県中小企業団体中央会総務部 部長 松村和夫様

当日の議題は①平成24年度事業実施報告 ②平成25年度事業実施計画 ③意見交換ということで、埼情協からは岩寄副会長を筆頭にビジネス部会の主要メンバーが参加して会議がはじまりました。

支援機関の皆様方の多くが本年度の人事異動によ

り、本会議に初めて参加するということで、自己紹介および本会議体の主旨のご説明をさせていただきました。

□埼玉 IT 経営ネットワーク会議（地域連携事業）の目的

- ・地域 IT 利活用の促進を「地産地消」のネットワークで実施する
- ・年3回の会議の中で支援団体のアドバイスをいただき上記目的を達成する

（1）平成24年度事業報告

①「彩の国ビジネスアリーナ2013」への取り組み

◇IT ソリューションゾーンの設営

協会員：16社・21間 非協会員：21社・24小間

◇ゾーン内でのプレゼンコーナーの運営

実施：6社・11本

◇ゾーン出展社案内パンフ作成 3000部印刷

◇IT セミナーの開催

「中小企業のビジネス革新」

ソフトバンクテレコム 中山五輪男様

参加者150名

② 相談事業企画

協会内の相談対応体制を構築 相談員：7名

③ 地域ビジネスマッチング企画

「IT 活用経営支援セミナー」

・スマートフォン・タブレットの活用によるビジネスサービス NTT ドコモ 法人事業部

・協会員 2社からプレゼン

2012年3月21日実施

於：熊谷市文化創造館 参加55名

④ 関東地域クラウド推進事業への参加

「ユーザーニーズ調査事業」

RFID 活用入退場管理（3社）

スマホ活用の簡易バスロケーション管理（3市）

(2) 平成25年度事業実施計画

(基本方針) 本事業への取り組み3年目としての成果を出す。次年度以降の「自立継続的」活動への道筋をたてる。

①彩の国ビジネスアリーナ2014への取り組み

24年度実施の諸企画のブラッシュアップを行い、より多くの出展より多くの集客より多くの商談発掘を行う。

②相談事業企画

「信頼される埼情協のIT活用相談」の確立。ビジネスマッチングに繋がるシステムの確立。

③ニーズヒヤリング

「自主事業」として実施する。

④地域ビジネスマッチング企画

県北部での継続開催および県西部で新たに取り組む。

⑤テーマ/特定市場訴求型企画

「埼玉県自治体クラウドセミナー」

平成25年6月28日 於：埼玉県県民健康センター
セミナー：6コマ10セッション

展示：会員企業8社

参加：自治体10団体19名 一般法人 14社26名

継続的な情報発信に努める

以上のような内容をご報告したところ、参加いただいた皆様からは、「埼情協がこんなに幅広い活動をしているのは知らなかった。」「平成25年度の活動も活発に実施してほしい。」「ビジネスマッチングは大変だが事業を通じ継続しうまくいくとよい。」「地域に対して積極的に取り組もうとする姿はよい。メニューを提示し期待感を醸成すべき。」「事業のひと



つひとつの情報発信・周知が重要。」「埼情協が何をできるかを明確にし、わかるようにしていくべき。個々の企業への提案事例をつみかさねて発信していくことが肝要。」等々多数のご意見をいただきました。

今後我々が取り組んでいく活動におけるキーワードは「継続」「情報発信」「メニュー化」であると思い、今年度の活動に組み込んでいく所存です。支援機関の皆様方の引き続きのご指導・ご鞭撻を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



4つの事業領域から広がる無限の可能性と新たな展開に挑戦します。

★ アウトソーシングサービス
★ アプリケーション開発

★ パッケージソリューション
★ Webインテグレーション

Tic 株式会社 ティー・アイ・シー

◆本社 〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷1-16-13 日本生命越谷ビル
TEL 0489-89-2111 FAX 0489-89-2333
URL <http://www.ticstage.co.jp>

・(社)埼玉県情報サービス産業協会会員
・FCA(富士通系情報処理サービス業グループ)会員
・昭和シェル石油(株)サテライトセンター
・富士通パートナー

埼玉大学提携講座 「情報と職業」

埼玉大学工学部情報システム工学科での提携講座「情報と職業」は今年で7年目を迎えました。今年は協会から6名の講師を派遣し、情報業界に限らず、広く職業とは何かについて講義しました。

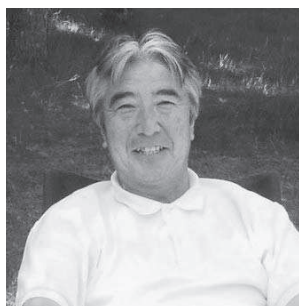
講義は金曜日の9・10時限（16：20～17：50）に行われ、講義終了後は担当の池口教授と学生との懇親会が開かれました。

日程	担当講師	テーマ
4月26日	松島 勲理事	若者よグローバルな人材を目指せ！
5月10日	今井 明理事、深澤 陽平氏（夢科情報）	ある中小ソフトハウスの事例
5月31日	藤田 勉氏（ソルパック）	ITベンチャー起業家論
6月14日	岡本 比呂志理事	職業とキャリアを考える
7月5日	石井 進氏（AGS）	銀行におけるコンピュータ活用の変遷

4/26

若者よグローバルな人材を目指せ！

講師：松島 勲理事



1. メディアを通じてグローバルな人材という言葉がよく聞かれるが、実際にグローバルな人材とは、どんな人材をグローバルな人材というのか。

私の考えるグローバルな人材とは、外国人と日本人は、文化の違いがあり物の考え方が全く異なります。その外国人に自分の意見を自分の意見としてきちんと説明し理解をえることができる人材を言います。

2. 日本の企業の就職事情

- ・4月に就職
- ・採用基準に年齢制限がある。
- ・学歴（出身校）にこだわりがある。
- ・現在就職活動していて思い当たることはありませんか？

3. 日本企業のグローバル化

- ・日本人以外の学生を採用する企業が増加している。（優秀であれば、日本人には拘らない）
- ・企業内公用語が英語
- ・新卒者の離職率が高い。（終身雇用制の崩壊）
- ・年齢で給料が決まらない。その本人の能力により決まる。

4. 日本企業のトップ外国人になると企業風土及び企業文化は、どうなりますか？

日本企業のCEOも外国人のCEOを受け入れている。（そのうちに中国人にCEOに使われることになる）

日本企業の経営トップに外国人が登用されることにより、企業内風土及び企業文化ががらりと変わります。

- ・事業に対する考え方
- ・役職に対する考え方
- ・仕事の仕方（会議、報告、提案：この提案が重視される）
- ・昇給

日本人：沈黙は金なり

外国人：黙っている奴は、自分の考えが無い奴。つまり、自分の意見が無いとみなされます。

※彼と同じです。は、本当にNG

5. 日本企業はこれからこう変わる

- ・同じ意見、考え方は不要（何故自分は、こう考えるかをキチンと説明できることが大切）。但し、相手の意見を尊重し理解することは大切。決して否定してはいけない。しかし、変なところで妥協は禁物。
- ・自分の意見をきちんと言えないと何も考えてい

ないと思われます。

- ・重要なことは、自分自身で理解することが大切。
(決して聞き流さない)
- ・採用基準が変わる。
 - ・採用日
 - ・スキル
 - ・その他
- ・外国人が企業の中に仕事仲間として存在する。

5. そんな世の中なのに、君たちはグローバルな人材に自分自身になる為に何故海外へ留学しないのか？

- *日本の学生は、何故海外へ留学して外国の文化や考え方を学ばないのか？
- *中国、台湾、韓国は、海外に次世代を担う新世代の学生が海外へ飛び出しているのに日本の学生は、何で海外へ行かないの？
- *留学するのに何か問題があるのか？

6. 日本人の特徴

良い点は、置いといて次のことが挙げられます。

- ・自分の気持ち等全て言葉で表現できるようにアクション付で話す事が無い。
- ・学校の先生は、トークとチョークのみで授業をする。学生とのディスカッションが無い。海外では、先生と生徒がキャッチボール方式で授業を実施する。
- ・日本の学生は授業中寝ている。(これは、外国人から良く指摘されます)
- ・重要な話を避ける。(目でわかるだろ的)：本当は、良く理解できていない。曖昧さの美德を重んじる。
- ・アイコンタクトが下手。
- ・説明するときに文章を棒読みで、相手の事を考えない。
- ・自分自身をPRすることに慣れていない。(下手)
就職試験の面接が困る。(素顔のままの君を見せて欲しい)
- ・同じ教育を受けており考え方行動思考が同じ傾向があり、他の考え方を受入出来ない。
- ・他人を自分の世界に受入たくない。(自分ワールドが好き)
- ・外人等と話すとフラストレーションがたまることから避ける。(他人も同様)
- ・周りの事を意識しすぎて自分の意見を言えない。
(KYと言われたくない)

7. 何故海外留学が必要か

- ・外国人との交流は、その国で生活する事のみで得られることであり、日本では不可能である。
- ・世界を見渡せる広い視野を持つ事が可能。
- ・廻りが海の日本では、得られない体験が可能。
- ・日本人以外の考え方を知ることができる。
- ・自分自身の意見を言えるようになる。

8. 海外留学で得られること

- ・自分自身の自己革新ができる。(自分がこれまでの自分から、生まれ変わる事ができる)
理由：
 - ・海外では、あらゆる問題を自分自身で解決するという必然性に対応することで自分自身の人間的成長が望める。
 - ・留学先では、恐らく様々な国の人との交流があります。これにより様々な国の文化、考え方を学ぶことができます。また、外国人を理解し認めることが出来るようになり感謝の気持ちを素直に表現できるようになります。日本ではあまり使わない感謝の言葉が素直に言えるようになります。
 - ・日本の外から日本を見る事ができる。
日本の長所及び短所が理解できる。
 - ・様々な国の人と付き合う事で外国人と対等に話ができるようになります。
 - ・人前での話方が変わります。
日本人は、アイコンタクトを取らずにプレゼンテーションする人が多い。このスタイルが大きく変わります。ジェスチャーを交えアイコンタクトを取り自分の意見を相手が理解していると確信ができるプレゼンが出来るようになる。

9. 自分自身の自己紹介をしたらどのようになりますか？

- ・全く自分を知らない人に自分を理解して頂く場合。

10. あなたが外国人に日本を(の文化、歴史、風習、を)説明したらどの様に説明しますか？

11. 最後に貴方がグローバルな人材になる為には、これから何をしますか？



	ソフトウェア業 (小分類381)	情報処理・提供 サービス業 (小分類382)	インターネット 付随サービス業 (小分類401)	計
従業者数	640,547	232,340	39,397	912,284
主業部門の従業者数(従事者5人以上)	564,425	191,879	36,646	792,950
システムエンジニア(SE)	292,440	51,625	9,303	353,368
プログラマー(PG)	126,475	16,236	2,442	145,153
研究員	1,849	3,413	70	5,332
ユーザーサポート	9,817	9,862	3,142	22,821
管理・営業	95,683	39,412	11,019	146,114
企画	10,931	3,747	5,165	19,843
その他	27,230	67,584	5,505	100,319

※ 職種別従業者数は従事者5人以上の事業所の各分類の「主業」のみが調査対象となっている。
例えば、「ソフトウェア業(小分類381)」事業者の「情報処理・提供サービス業」は「従業」となるため、その部門の内訳は上記の職種別従業者数には含まれない。
※ 上図は、「792,950人」の職種別従業者数の割合をグラフ化したものである。

資料：経済産業省・特定サービス産業実態調査(<http://www.meti.go.jp/>)

2012/3/1

■講義の目的

職業選択の不適合を防ぐこと
離職率の増加、技術の不伝承
国力の衰退からの脱皮

1. 中小企業の定義

①企業の規模(資本金)による分類

中小企業：資本金1,000万円以上1億円未満

零細企業：資本金1,000万円未満

②中小企業基本法による分類

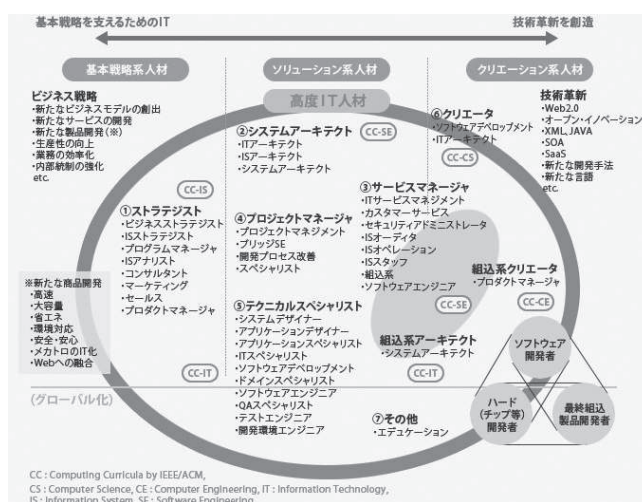
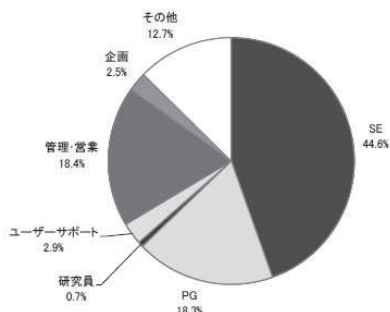
情報サービス業：資本金3億円以下又は従業員300人以下

*企業数の99%前後が中小企業である

2. 埼玉県情報サービス産業協会においても約80%が中小企業である

3. 情報サービス産業における職種

情報サービス産業 職種別従事者 (2010)



4. ソフトハウスの仕事の受注イメージ

エンドユーザ→ハードメーカー/大手ベンダー
→中堅ソフトハウス→中小ソフトハウス
中小企業はエンドユーザと直接交渉が出来ない、
多重下請け構造になっている

5. 情報システム構築・運用の仕事 (JISAに掲載されている「情報サービス産業の仕事と働き方」より)



①企画

やりたいことを決める、こんなことができれば便利だな(家造り：どんな住まいにしたい?)

②要件定義

ITの力を使って実現する具体的な内容を決めていく(家造り：間取りや外観は?)

③設計

ソフトウェアにどのような動きをさせるかを具体的に決めていく（家造り：設計図を作成）

④製造・検証

プログラムを作成し、ソフトウェアを作り上げていく。ソフトウェアが正しく動くかどうか、何度も試験を行って確認する（家造り：家を建築・検証）

⑤運用開始

完成したしくみを世の中に送り出す（家造り：検査・引き渡し）

6. ソフトハウスの作業の特徴

- ①作業場所は不規則、作業時間も不規則
- ②残業過多、休日出勤もありえる
- ③裁量労働制である
- ④色々な業界の人と会える、色々な業界の仕組みを知ることが出来る

7. システムエンジニアとしての必要要件

- ・柔軟な思考が出来る者
- ・積極性のあるプラス志向の者
- ・責任感のある者、協調性のある者

・聞き上手、話上手

・色々な事に興味を持てる方

※人と接するのが苦手な方は SE に向いていない。

コンピュータ技術は勿論であるが、それ以上に社会人としての素養、マナーが必要とされる。

8. 情報サービス企業の人材ニーズ（JISA に掲載されている「企業の人材ニーズ」より）

- ・挑戦意欲に富んでいる、技術・知識を吸収することに貪欲である
- ・評論ではなく自ら行動し問題解決できる
- ・相手の立場・主張を理解し問題の本質を見抜くことができる
- ・先入観にとらわれず時と場合に応じたコミュニケーションができる
- ・心身ともタフである

※専門分野を最低2分野持っていること、人脈が大切、報告・連絡・相談（部下に対しても）が大切、挨拶（大きな声で、はっきりと）ができること、情報発信ができること等が大切である

5
31

IT ベンチャー起業家論

講師：藤田 勉氏（ソルパック）



<講義を始める前に>

私は日本アイ・ビー・エム株式会社に約30年勤務し、その後 株式会社ソルパックを起業し、17期目です。六本木に本社を、ベトナム、タイ、上海に子会社を設立しました。

今日は、私の IT 業界約45年の経験をお話し、皆さまの参考になることがあれば大変嬉しく思います。

<外資系 IT 企業である、日本 IBM に約30年勤めて感じたこと>

MESSAGE-1. 外資系企業は厳しい！

会社の業績が悪いと『リストラ』が実施され、短期間で赤字を黒字にするスピードが日本企業に比べ早いです。

人事評価が厳しく、毎年評価が年末に実施され、

評価 A、B、C に分類されます。

企業は生きていくために必死です。しかし、重要なことは社員個人個人が自分で努力して Skill を身につけ、資格を取り、個人で生きる力、生きる能力を身につけることです。大会社に入って年をとれば職位も上がり、給料も上がり、60歳まで勤務できる時代は終わりました。

MESSAGE-2. 成果主義が明確です！

インセンティブ・プランが明確で、成果が出るほどリターンもあり、競争は激しいが楽しかったです。

今後は成果主義がもっともっと重要になってきます。残業すればお金がもらえる時代は終わり、成果を出してお金をもらう時代になっていきます。

MESSAGE-3. 人材育成計画が優れている！

人材育成のための制度である「プロフェッショナル制度」があり、「エントリーレベル」、「ミドルレベル」、「ハイレベル」へと一歩一歩昇進していきます。

年齢に比例しないで、能力に比例します。

Specialist として、どんどん成長し、最高位に行きつけば部下はいなくても役員待遇を受けることができ、Generalist ではなく、Specialist として生きる道が用意されています。

MESSAGE-4. 人間としての正しい生き方を学べる！

「ビジネス・コンダクト・ガイドライン」があり、法律と倫理規範を守り、社会やお客様と良好な関係を保ち、信頼される人間としての責任を果たすためのガイドラインが素晴らしく、「ビジネスマン」の前に、人間として正しい生き方をまなぶことができました。

役員候補の方が「ビジネス・コンダクト・ガイドライン」に違反し、会社を退職するケースを何度も見てきました。大変厳しい制度ですが、Fair で素晴らしい制度だと思います。

<株式会社ソルパックを起業し、17年間経営し、感じたこと>

MESSAGE-5. 何故「SOLPAC」を起業したか！

IBM でのいろんな経験が起業の夢をはぐくみ、思い切って起業しました。

サラリーマンを卒業し、「Business Owner」となり、IT で中堅中小企業のために改革を実施し、『IT の町のお医者様』として活躍する会社を構築し、中堅中小企業様から感謝され、IT で世界の役に立ちたいと思いました。

MESSAGE-6. 会社経営に「資金繰り」は重要だ！

倒産の危機の原因は『資金繰り』です。大きな投資による資金繰りの悪化、また不況による資金繰りの悪化が発生します。急激な成長も資金繰りが悪化します。銀行からの融資、ベンチャーキャピタルからの融資、自己資本、株主からの出資等、色々なお金の調達方法がありますが、会社の経営が黒字体質の時は良いのですが、赤字体質の時のお金の調達は大変難しく注意が必要です。このため、重要なことは利益の一部を必ず毎年毎年貯めておくことが必要です。不況の時、銀行から融資が STOP した時に貯めていたお金が大変役に立ちます。

MESSAGE-7. IT 業界の変遷に対応した「得意技の創造」！

IT 業界も時代の流れと共に変化してまいります。かつて、多くのニーズがあった『基幹開発ビジネス』

も年々減少し、その代わりに『ERP 開発ビジネス』『コンサルティングビジネス』『Web-ビジネス』『クラウドビジネス』等の新規ビジネスが発生してきています。

IT 業界の変遷に対応した『得意技の創造』が必要です。独自の『得意技の創造』を成功させ、この得意技である商品の改良を継続し、他社よりも高品質、低価格、短納期の仕組みを構築する事が必要です。これは大変難しい目標で、我々の会社ではまだまだ『得意技の創造』ができていません。しかし、将来の得意技の創造を目指し、日夜努力しています。

MESSAGE-8. 「チャレンジ精神」とインターネットの利用で中堅企業でも大企業に勝てる！

起業して、中小企業としてスタートする時、重要なことは、あまり無理をせず一步一步進んでゆくことです。また、中小企業でも充分大企業を打ち負かす事が可能です。大きな分野で大きな勝利を狙わず、小さな分野（ニッチな分野）で大きな勝利を狙うことが重要です。

今の時代は中堅企業のチャンス時代です。理由は、『インターネット』を利用すれば、中堅企業でも大企業に勝てるチャンスがあるからです。

インターネットは世界のすべての人が見ることが出来ます。我々中小企業の創造した『得意技』が世界一高品質で低価格であれば、世界の人々がインターネットを通じて購入してくれる可能性があり、大ブレイクの可能性も充分にあります。

<おわりに>

私は学校の成績はあまり良くなかったですが、誰よりも高い夢を持って、いつかは世の中の役に立つ人間になるんだと思って努力をしてきました。おかげで70才になっても素晴らしい感動の人生を送らせてもらっています。

“起業”で一番大切なのは使命感です。“世の中を良くしよう”、“どのようにすればもっと低価格／高品質／短納期な製品ができるのかな～”等の使命感です。日本の仕組みの中で起業は十分可能です。夢を高く持って一生懸命努力すれば大丈夫です。結果を焦らず、頑張ってください。いつか必ず帳尻は合います。



(1) 経営とは何か？

① 経営とは何か？

(ア) 経営の目的について

(イ) 経営とは…経営の目的を実現するためのあらゆる活動と、その全てのプロセス。

② 経営の構造

(ア) 経営理念（創業者の思い）…

① ミッション…

企業の社会的使命（「社是」「社訓」）

② ビジョン…企業の目指す将来像

(イ) 会社経営の三層構造

① 経営理念…

何をを目指すべきか？何を目指したいのか？

② 経営戦略…

いつまでに何をどのくらい獲得するのか？

③ 基幹業務プロセス…

目標をどのような方法で達成していくのか？

③ 会社経営と学校経営

(ア) 会社経営

① 商取引 ② 売買（利益）

③ 短期（顧客との関わり方）

④ ミッション・ビジョン、社是・社訓

⑤ 会社の組織力 ⑥ 公的規制は小

(イ) 学校経営

① 教育（サービス） ② 知的精神的成長

③ 長期（顧客との関わり方）

④ 建学の精神、教育方針

⑤ 教師の指導力+学園組織力

⑥ 公的規制は大

④ 学校経営の基本モデル

(ア) 教育プロセス・マネジメント

(イ) 管理プロセス・マネジメント

⑤ 経営（マネジメント）の対象

⑥ 経営者の仕事の役割

⑦ 経営者の必要な資質

1. 楽天的 2. 社交的 3. リーダーシップ
4. 創造性 5. 好奇心 6. まじめでよく働く
7. 数字に強い 8. 金銭感覚 9. 先見性
10. 構造力 11. 誠実 12. 決断力 13. 粘り
14. チャレンジ精神 15. 度胸

(2) 職業とキャリアを考える

① 若者の現状…大きな困難に直面

(ア) 「学校社会から社会・職業への移行」が円滑に行われていない。

(イ) 「社会的・職業的自立への課題」

⇒今こそ、職業教育・キャリア教育の振興を！

② キャリア教育と職業教育

③ キャリア教育と職業教育の振興

④ キャリアとは何か？

(ア) 「キャリア」＝「職務経歴」（経験してきた職業（職務）の連続）

⑤ キャリアデザインとは？

(ア) 自分自身が主体性を持って自律的に（職業選択）を計画し、実行していこうというもの。

(イ) キャリアの基盤（自己イメージの確立＝キャリア・アンカー）

(ウ) キャリアには「外見上のキャリア」と「内面上のキャリア」がある。

⑥ キャリア・アンカーとは？

(ア) キャリア・アンカー（船の錨）

(イ) キャリア・アンカーの種類

⑦ キャリア教育と日本の未来

(ア) 日本はどういう国を目指していくのか？（国家ビジョン）

① 「科学技術創造立国」

② 「イノベーションと豊かなライフスタイルで世界をリードする超先進国家

(イ) どういう日本人を作るのか

- ① 日本の国家戦略・産業戦略に基づいた人材戦略
- ② 「教育体系」・「教育システム」の構築
- ⑧ これからの日本人に求められる資質・能力
 - (ア) 人間的資質
 - (イ) 職業人・ビジネス人としての基本的資質
 - (ウ) 大局観・哲学・教養

キャリア教育で人生を豊かに

⇒小さい時から、将来の人生や職業について考えさせるキャリア教育は極めて重要な国民的課題である。

⑨ 日本を担う若者へ10のメッセージ

⑩ 私の人生観

(ア) Design, Challenge and Build

～わくわくするような面白い人生を精一杯生きていきたい！～

～そして、多少なりとも“世のため人のために貢献できる人生になれば！”～

■結語

Think Globally, Act Locally.

“着眼大局、着手小局”

【演習】「日本の未来、自分の人生とキャリア」について考えてみよう

1. これからの日本はどうなると思うか？（将来イメージ）
2. あなたは、自分の人生をどのような人生にしたいですか？（ライフプラン）
3. あなたは、どういう職業につきたいと思っていますか？（職業選択）
4. 上記の職業を選んだ理由は何ですか？（価値観）
5. あなたは、海外への留学をしたいと思いますか？
6. 質疑・応答

7/5

銀行におけるコンピュータ活用の変遷

講師：石井 進氏（AGS）



1. IT 産業の変遷（歴史）

○世界における歴史

大きく3つの局面に分けられ、常にアメリカがリーダー。

- ・第1の局面（1930年～）
軍事目的でアメリカから発展。コンピュータ＝計算のための優れた機械。
- ・第2の局面（1964年～）
情報処理の時代になり、コンピュータが発展。メインフレーム（大型汎用機）で集中処理が可能となった。取り扱うデータが高度化し統計学を駆使

した複雑な解析が可能となる環境になった。

- ・第3の局面（1995年～）

Windows95が登場。インターネット時代の幕開け。コミュニケーションや情報収集のためのオープンなネットワーク基盤となった。

⇒軍事ツール→企業ツール→個人ツールとして発展。

○日本における歴史

- ・第1の局面（1930年～）
経営効率化・機械化の一環でパンチカードシステムの導入。
- ・第2の局面（1964年～）
日本電信電話公社（現 NTT）が専用回線サービス開始。
銀行を始め日本の高度経済成長が進み、オンラインシステムが稼動。金融業務の重要性が増す中で、膨大な事務量の増加を合理化する事を狙いに金融オンラインシステムが完成。

（AGSの前身も1971年に銀行向け受託計算サービス提供を目的に設立）

・第3の局面（1995年～）

SOHO、ベンチャー企業など裾野を広げて成長。既存業務の省力化・効率化（コスト削減）から、業務そのものの抜本的な再構築（BPR）へ変化するのに合わせ、情報サービスの内容も変化している。

2. 銀行におけるコンピュータ活用の変遷

○銀行におけるコンピュータ活用の変遷

・第一次オンラインシステム（1965年頃～1970年代後半）

事務の効率化や省力化が目的であり、コンピュータは大量業務処理を行うツールであった。

・第二次オンラインシステム（1975年頃～）、第三次オンラインシステム（1985年頃～）

顧客サービスの向上や顧客情報管理の充実に活用され、ATMの登場によりサービス時間の延長や休日サービスが可能となった。

また、顧客情報を組み入れたことにより、それらを活用したマーケティングの展開も可能となった。

・ポスト三次オン（1996年～）から現在

高度なIT技術を駆使し、金融工学を活用した金融商品の提供やリスク管理を行っている。

膨大なシステム更改のコストをどのように落とすか、有事に業務継続をいかに円滑に実施するかというBCM（事業継続マネジメント）へのシステム対応が中心となっている。

・今後は…

ネットバンキング機能を活用した無店舗化やサイバーテロなどの金融システム犯罪にいかに対処していくかに軸足がおかれていくのではない

か。

○銀行におけるコンピュータの活用事例

コンピュータ技術の発展により、銀行は豊富な顧客情報を保有

→顧客情報を活用し、コンピュータによるプッシュ型マスマーケティングを展開

→顧客データベースのデータをマイニングし、大量の顧客からターゲット顧客を絞り込む

→この技術力が銀行の個人顧客戦略の重要な要素となった

→コンピュータが業務処理の利用ツールからマーケティングの活用ツールに変遷（CRM顧客関係管理）の発展

3. IT企業の経営（AGSについて）

2011年3月11日に東京証券取引所第二部に上場。

さいたま市浦和区に本社があり、当社と子会社を併せた4社で、システムコンサルティングからアウトソーシングにいたる総合情報サービスを事業とする。

お客様は東京都・埼玉県を軸とした首都圏エリアを中心に、公共、金融、法人の3領域にバランスの取れた構成となっており、市場環境に柔軟に対応し、安定的な成長を見込める。

2012年3月には、最新の設備を備え、環境に配慮した新データセンターのサービスを開始し、当社事業の中核となるデータセンタービジネスを積極的に展開している。

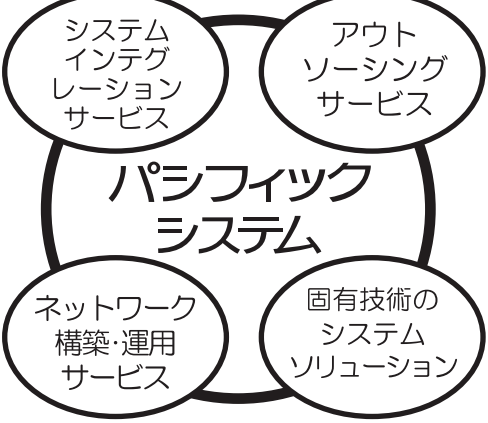


パシフィックシステム株式会社

本 社
〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島8-4-19
TEL 048-845-2200 FAX 048-845-2260

熊谷センター
〒360-0826 埼玉県熊谷市赤城町3-1-1
TEL 048-521-3522 FAX 048-521-3524

URL <http://www.pacific-systems.co.jp/>



システム
インテグ
レーション
サービス

アウト
ソーシング
サービス

**パシフィック
システム**

ネットワー
ク構築・運用
サービス

固有技術の
システム
ソリューション

アジアオセアニア・コンピュータ産業機構 ICT サミット 2013 参加報告

AGS 株式会社 野澤 幸治



ASOCIO（アジアオセアニア・コンピュータ産業機構）ICT Summit 2013 への参加と隣国ミャンマーの視察を目的に、9月25日から30日にかけて、タイ・ミャンマーを訪問してまいりました。

参加メンバーは小川会長・鈴木副会長・岩寄副会長・田沼専務理事・田中理事・鈴木理事・深澤理事・橋本監事・内田事務局長・増古氏・谷口氏・私と、ミャンマー国籍の当社社員であるトウトウさんの総勢13名です。

*** タイについて ***

ASOCIO 開催地のタイ王国はインドシナ半島の中央部に位置し、国土は日本の1.4倍、人口は日本の半分の約6,600万人、首都は今回の訪問先であるバンコクで人口は約600万人です。政治体制は立憲君主制であり国王が国家元首ですが、その権限にはタイ王国憲法によりさまざまな制限が加えられています。実際の政治は議院内閣制により首相が運営しますが、伝統的に軍の影響力が強く、軍事クーデターによりたびたび軍事政権が樹立されるなど、軍政と民政の間を行きつ戻りつしています。経済的には

1980年代以降に年間平均9%の高度経済成長を遂げましたが、1人当たりの平均所得は月2万円程度と低く、未だ発展途上国に分類されています。2010年の失業率は1.4%と数字上は低いのですが、収入水準の低い方々が大半を占めているようです。

タイ（シャム）というと個人的には江戸時代初期に活躍した山田長政を思い出しますが、日本とは600年にわたる交流の歴史を持ち、伝統的に友好関係を維持しています。特に経済面において両国は非常に緊密な関係にあり、タイから見て日本は貿易額・投資額・援助額ともに第一位であり、日本にとってもタイは

東南アジア地域における重要な生産拠点かつ市場となっています。外交的には伝統的に柔軟な全方位外交を基本とし、巧妙な外交手腕によって欧米各国の侵略を免れ、東南アジアの国ではめずらしく独立を保ってきました。そのため、同じ独立を保ってきた日本の政策には概ね好意的であり、太平洋戦争時には日泰攻守同盟条約により日本への協力姿勢を強めた時期もありました。最終的には連合国側と歩調を合わせましたが、日本軍の進駐によりかつてフランスに奪われた領土を回復できたこともあり、大きな戦闘は起きなかったとのことです。

このような背景から反日感情は少なく、幹線道路を走る自動車とバイクは殆どが日本車であり、街やショッピングモールには日本語の看板が非常に多く見られます。治安も良く、空気と水もきれいで、平均寿命が74歳と東南アジアの中では高いことも頷けます。

*** タイのIT事情とASOCIOについて ***

バンコク市内や空港では無線LAN環境が充実しており、スマートフォンを利用している人が多く見



受けられるなど、都市部のインフラ整備は非常に進んでいる印象を受けました。しかし、国全体でみるとインターネット利用率が約24%、パソコン保有率が7%弱であることから、都市部と地方では貧富の差だけでなくインフラ格差も大きいものがあると思われます。また、タイでは大学を卒業する学生のうち、IT技術を習得しているのは5,000名にすぎず、IT人材不足も懸念されているとのことでした。

このような背景もあり、ASOCIOの開会挨拶でタイのICT大臣は、タイ単独ではなく各国との連携によりIT立国を果たしたい旨を強調していました。展示されていたソフトウェアは、会計・人事・給与などの業務アプリケーションや開発基盤・共通部品などが主であり、当たり前のことながら種類のには日本と変わりありません。クラウド普及により距離を超えたサービス提供が容易となっている昨今、海外進出のハードルが以前よりぐっと低くなっていることを感じました。

更に、グローバル化を強く意識させてくれたのは、通訳を兼ねて参加させて頂いたトウトウさんの存在です。得意の英語を駆使し、レセプション等では他国の参加者と積極的にコミュニケーションをとり、SISIAメンバーに紹介してくれました。言葉の壁がなくなると、東南アジア進出が「いつか」ではなく現実味をもって感じられます。クラウド基盤を活用したSISIA会員企業のサービス・商品展開や、国境を越えた協業などは、その気になればいつでも、スモールスタートが切れる環境が整っていることを実感しました。

*** バンコク近郊視察 ***

ASOCIO イベントの合間を縫って、バンコク近

郊を視察することができました。タイは歴史ある仏教国であるため、訪問先は王宮・エメラルド寺院、暁の寺・涅槃仏寺など、すべて仏教系の建造物です。涅槃仏寺の寝釈迦像も非常に大きく立派でしたが、最も印象に残ったのは三島由紀夫の小説「豊饒の海」の舞台にもなった暁の寺（ワット・アルン）でした。

暁の寺へは、雨季のため泥水色に濁ったチャオプラヤー川を渡し船で渡って行きました。もっとも大きな建造物は高さ75mの大仏塔で、規模もさることながらバンコク様式の美しい壁面装飾が魅力です。大仏塔の中ほどまでは階段で登れるのですが、これが非常に急な階段であり、登った殆どの方は翌日ひどい痛を訴えていました。（その後、タイ式マッサージで回復したようです）

*** ミャンマーについて ***

ASOCIO 終了後、今後の経済発展が期待される隣国のミャンマー連邦共和国（旧ビルマ連邦）を視察しました。ミャンマーの国土は日本の1.8倍、人口はタイと同規模の約6,300万人、首都は今回訪問したヤンゴン（旧ラングーン）からネピドーに遷都されています。国内最大都市であるヤンゴンの人口は約500万人です。最近ではアウンサンスーチーさんの軟禁解除が大きく取り上げられましたが、未だ軍が政権を支配しており、ミャンマーへの国名変更も軍事政権が勝手に行ったものであるとして、アウンサンスーチーさんやアメリカ・イギリスなどはこれを認めていないという複雑な情勢下にあります。

経済的には年間平均5%程度の成長を続けていますが、1人当たりの平均所得は月5千円程度と非常に低く、失業率も約4%と近隣諸国に比べ高くなっ

ています。ヤンゴンには人口こそ多いものの、建物はイギリス植民地時代のもが多く老朽化しており、市街を外れるとバナナの葉で編んだ屋根の家に住んでいる人を多く見かけるなど、タイよりも近代化が遅れている印象を受けました。生活インフラ・環境的にも整備が進んでいるとは言えず、平均年齢はタイの74歳に比べ大幅に低い65歳とのこと。走っている車も20年ほど前の古い日本車が多く、空港に帰る途中には乗っていたバスがオーバーヒートで白煙を上げてストップ！ 日本に帰れずにこのまま現地法人開設かと思いましたが、すぐに代わりのバスが来て飛行機に間に合いました。

太平洋戦争時、当時のビルマはイギリスの植民地であったため熾烈な戦場となり、約18万人もの日本兵が亡くなったそうです。ビルマ軍は民族解放を旗印とした日本軍と当初は連携していましたが、日本の敗戦が濃厚になると連合国側に立って日本軍を攻める側に回ったとのこと。このあたりの関係は微妙ですが、結果として日本の侵攻が独立を早めることになったため、現地のガイドさんに聞いたところ、ミャンマーでは単にイギリス占領時代・日本占領時代があったというだけで、特に反日的な教育はされておらず、親日家が多いとのことでした。

IT事情という観点では、ミャンマーは空港や都市部でも携帯電話の電波が届かないところが多く、届く場所でも利用サービスが音声通話に限定されるなど、インフラ面については発展途上という感を拭えません。また、電力供給も安定しておらず停電が稀にあることから、開発拠点やデータセンタ拠点を求めての海外企業の進出は少ないようです。一方、ミャンマーの方は人柄が誠実で英語に堪能な若者が

多いことから、オフショア開発や海外拠点におけるブリッジSEとして採用する日本企業が増えているとのことでした。

観光面では、バゴーという街でシュエモード・パゴダ（高さ114mもある巨大仏塔）とチャイプーン・パゴダ（4面の巨大座仏像）を、ヤンゴンでシュエダゴン・パゴダ（金色の荘厳な仏塔）を見学しました。

急速な経済成長を遂げてきている東南アジアのなかでも、特に今後の成長が期待されるタイとミャンマーを訪問することができ、グローバル化を意識した施策展開に有効な多くの経験を積むことができました。

最後になりますが、今回の視察でお世話になった参加メンバーの方々に心よりお礼を申し上げます。有難うございました。

*** トウトウさんより ***

ASOCIO ICT サミットに参加し、タイの成長している技術を見学することができて、とても良い経験でした。近隣の国がそのように発展していることを体験した私は母国のことを考えて大変感動しました。会議に参加していたミャンマーの先生達、友人達に会えてミャンマーの現在の情報を聞くことができ、すごくよかったです。現在のミャンマーはいろいろな厳しい状況がありますが、以前より良い方向になっているのは嬉しいことです。

皆様、遠い日本からミャンマーに来て頂いて本当に感謝しております。私に貴重な経験を頂きまして有難うございました。



ビジネス交流会 開催

ビジネス部会 清水 秀昭

平成 25 年 7 月 10 日（水）午後、大宮ソニックシティ会議室にてビジネス交流会を実施いたしました。

冒頭、新部長に就任されたミツイワ株式会社の矢吹執行役員よりご挨拶並びに開会の辞をいただきました。

交流会は、先ず会員企業の 3 社より自社の製品・サービスをご紹介いただきました。講演内容は以下の通りです。

① セキュリティリスクと運用コストを同時に削減するクラウド型「リスク管理サービス」

ミツイワ株式会社 様

② 企業向けネットワークカメラ映像管理ソリューション「AGS」クラウドα Secure NVR

A G S 株式会社 様

③ たった 3 分でここまで出来る次世代超高速アプリ開発 C S S クレセント株式会社 様

各社とも最近の技術動向を取り入れたクラウドやモバイルの活用方法、開発ツールについての講演であり、ソフトウェア関連企業の進む方向の一端を垣間見ることになり、聴講された皆さんの興味も引いたのではないかと思います。

休憩をはさみ、当日の目玉となる講演を、『事件事故事例を題材にした「セキュリティ事件とモニタリング」と「モニタリングサイクル」』と題して、長年に渡りセキュリティ関連に取り組んできた株式会社ラック セキュリティ事業本部 エグゼクティ

ブコンサルタント 加藤 智巳様よりご講演いただきました。

現在、新聞やテレビでも頻繁に報道されている情報漏洩だけではなく、いろいろな種類で多発しているセキュリティ事件に対して、ラック社としてどのように解析し、対応策を立て、実際の対策を行っているかのお話に、普段は人ごとのように聞き流していた自分の不見識が大変なことを引き起こしてしまう可能性がある、という認識を新たにしました。

特に、ラック社に調査を依頼すると、社内のコンピュータのほぼ 100%が何らかのウィルスに感染しているという状況には驚くばかりでした。また、海外からの攻撃についても標的になるとんでもないことになること。ネットバンキングでも、利用者のパソコンが既にウィルス感染しており、知らぬ間に取引が行われ、銀行が非難されることがあるが実は銀行が被害者であることなど、セキュリティの最前線で活躍されている講師から『今起きていること』を生の声で聞き、ご出席の皆さんは自社の防衛について思いを巡らせたのではと推測した次第です。

講師の話し方も非常に面白く皆さん聞き入っていました。また、ラック社のセキュリティの中核を担う執務室が映画などに出てきそうな近未来の設備だったことも関心を引いていました。

交流会終了後の懇親会につきましても講師の方を中心に今後の事業展開などの話題で大いに盛り上がりましたことを報告させていただきます。



25年度上半期研修会開催

上半期研修会として「日常作業の効率化」研修を大宮情報文化センターにて開催致しました。

「事務担当者のための Excel 2010 マクロ／VBA 研修」を9月13日（1日研修）開催致しました。

この研修は、Excelで行う作業を自動化するマクロ機能の学習とマクロの機能を利用することで、プログラムを書くことなく作業を自動化し、さらにマクロを作成した際に自動生成されるVBAとの関係について学び記録したマクロを編集して汎用性のある処理の自動化する方法を学びます



参加者は16名、午前9時30分～午後5時まで講義と実践が行われ、参加者アンケートでは知らなかった機能を学習出来、業務に生かしより事務効率向上が目指せる等の意見が多く見られました。

「事務担当者のための Excel2010 VBA プログラミング実践研修」を10月8日（1日研修）参加者10名にて開催。

Excel VBA を業務に活用するためのプログラミング要素や基本文法について、講義データを及び実習を通して学習します。

下半期研修

- 「アプリケーションテストの基本と実践」 経験2年～5年
 開催日 10月16日（水）～17日（木）2日間
 開催場所 埼玉職業訓練支援センター研修室
- 「プロジェクトマネジメントの基本から問題解決まで」 経験2年～5年
 開催日 10月24日（木）～25日（金）2日間
 開催場所 埼玉職業訓練支援センター研修室
- 「ソフトウェア品質確保の基本と実践」 経験2年～5年
 開催日 12月9日（月）～10日（火）2日間
 開催場所 埼玉職業訓練支援センター研修室

「埼玉県内 16 大学合同企業説明会」に参画



当協会は埼玉県大学就職問題協議会主催「埼玉県内 16 大学合同企業説明会」に協賛団体として昨年に引き続き参画致しました。

この合同企業説明会は県内 16 大学の 4 年生および大学院 2 年生で、就職活動中の学生就職支援事業として実施され、地元埼玉県内の企業を中心として採用活動継続中の企業とのマッチングを図ることを目的としています。

開催は 8 月 9 日、ホテルブリランテ武蔵野で 49 社の参加企業と 422 名の学生との面談が行われ、当協会からは 11 社が参加し多数の学生との面談が行われました。



当日は午後 1 時～午後 4 時 30 分まで 25 分間で 1 ローターションとして面談を実施、6 ローターション開催され、参加各企業の説明場には多数の学生が詰めかけ質疑・応答があり、企業の就職担当者も優秀な学生の獲得に向け、熱の籠った企業内容の説明を行っていました。

今回の合同企業説明会で一人でも多くの学生が就職出来、希望に燃えた社会人になれることは我が国の繁栄持続の礎となります。

今後とも積極的に学生の就職支援を行い、IT 企業が優秀な学生を獲得し、更なる業界の発展を期し、たくご支援をお願い致します。

【埼玉県大学就職問題協議会加盟 16 大学名】

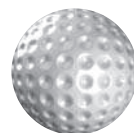
跡見学園女子大学、埼玉学園大学、埼玉工業大学、城西大学、女子栄養大学、駿河台大学
聖学院大学、大東文化大学、東京国際大学、東京電機大学、獨協大学、日本工業大学
文教大学、文京学院大学、ものづくり大学、立正大学

【協賛団体・企業】

公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会、株式会社埼玉りそな銀行、埼玉中小企業家同友会



第18回 チャリティゴルフコンペ開催



恒例の第18回チャリティゴルフコンペが高麗川カントリークラブで開催されました。

当日の集合時間は激しい雨に見舞われ、開催が危ぶまれましたが、スタート時には雨も小降りとなり、10組36名の参加者が集い、OUT5組/IN5組に分かれてのスタートとなりました。

スタート1組、2組目は雨のため・緊張?のためか打球は右に左に打ち分けていましたが、悲喜こもごものスコアは別として、皆さん大いにプレーを楽しみながら親睦を深めていました。

競技は新ペリア方式で行われ、表彰式では田沼専務理事が優勝者を発表すると盛大な拍手が湧き各賞の授与が行われました。

当日は寄付金のための罰打ルールが設けられ、罰打ルールが適用されない皆さんを含め多くの善意が寄せられました。

チャリティで集まりました寄付金は社会貢献団体に寄贈致します。

会員の皆様から多数の賞品を頂き、本紙上を持ちまして厚く御礼申し上げます。



		AUT	IN	グロス
優 勝	大澤 吉勝 氏 (株)夢科情報	44	39	83
準優勝	原田 薫 氏 三田電子ケイサン(株)	42	45	87
3 位	細川 芳雄 氏 ミツイワ(株)	42	44	86



画像マスキング

個人情報保護対応 電子帳票アウトソーシング支援ソフトウェア
SecureImageConverter2

御社のイメージファイルは**安全**ですか?
不安なことがありましたら御相談ください

弊社取り扱い製品の一部

- ・情報セキュリティ機能搭載イメージエントリシステム EM2013
- ※仮想化+シンクライアント対応
- ・クラウド対応イメージエントリシステム ES2012
- ・暗号化ソフトウェア OmegaCrypt2008
- ・アウトソーシング支援ソフトウェア SecureImageConverter2
- ※カラー帳票認識機能搭載

株式会社
ハツコエレクトロニクス

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-8
電話 03-5645-1561 FAX 03-5645-1563
<http://www.hatsuco.co.jp>

● 行事報告 (平成25年7月～9月) ●

	日付	行 事 名	担当部会等	参加者	場所・時間
7月	3日	ビジネス部会	ビジネス部会	8名	事務局 15:00～
	5日	HP コンテスト部会	HP コンテスト部会	5名	事務局 15:30～
	8日	広報部会	広報部会	7名	事務局 15:50～
	10日	ビジネス交流会	ビジネス部会	23名	大宮ソニックシティ902 14:00～
	11日	ANIA 総会	事務局	岩寄副会長 専務理事	アルカディア市谷 15:00～
		システム技術部会	システム技術部会	5名	AGS(株)会議室 16:00～
	12日	ANIA 事務局長会議	事務局	事務局長	新橋ミーティングルーム 10:00～
	16日	埼玉労働局長来協	事務局	3名	事務局 10:00～
	17日	IT ネットワーク会議	ビジネス部会	14名	埼玉会館 14:00～
	22日	ビジネスアリーナ実行委員会	事務局	岩寄副会長	中小公社 14:00～
	23日	日経懇話会	事務局	岩寄副会長	ロイヤルパインズホテル 16:30～
	24日	求人部会	求人部会	8名	事務局 15:50～
	29日	分科会	ビジネス部会	7名	事務局 14:00～
		「埼玉県都市計画案件」打合わせ	ビジネス部会	4名	事務局 15:00～
8月	7日	ビジネス部会	ビジネス部会	12名	事務局 15:00～
		「入会案内パンフレット」打合せ	事務局	3名	事務局 16:00～
	9日	16大学合同企業説明会	求人部会	604名	ブリランテ武蔵野 12:30～
	15日	システム技術部会	システム技術部会	8名	AGS(株)会議室 16:00～
	27日	「ニーズ調査」打合せ	ビジネス部会	10名	事務局 14:00～
	4日	ビジネス部会	ビジネス部会	8名	事務局 15:00～
9月	5日	第18回チャリティゴルフ	厚生労働部	37名	高麗川カントリー倶楽部 8:37～
	11日	求人部会	求人部会	7名	エレクス(株)会議室 14:00～
	12日	システム技術部会	システム技術部会	5名	AGS(株)会議室 16:00～
	13日	IT 研修	研修教育部会	16名	JACK ビル 14階 9:30～
	19日	HP コンテスト部会	HP コンテスト部会	4名	事務局 15:30～
	25日～ 30日	ASOCIO タイ・バンコク大会	事務局	12名	タイ (バンコク) ミャンマー (ヤンゴン)

会 員 企 業 動 向

<住所変更>

○株式会社イグアス 東日本事業部

(新住所) 〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館 17階

TEL 044-280-8500 FAX 044-280-8533

ポリテクセンター埼玉のご案内

施設利用サービスのご案内

企業または業界団体等の皆さまが行う社員研修、講演会、講習会、会議等に当センターの研修室・実習室をご利用いただけます。

●開放日：当センターが使用しない期間においてご利用ができます。あらかじめ空き状況をご確認ください。

●主な利用可能施設

大教室（2人がけ100名対応）

視聴覚室（2人がけ20名対応）

付属設備等 プロジェクター、マイク等

●例：大教室 平日 9：00～17：00の場合

暖房使用時期（11月～4月）400円×7時間＝2,800円

下記お問い合わせ先まで、ご相談くださいませ。

社員教育：セミナーのご案内

ポリテクセンター埼玉では、Java言語、データベース技術やソフトウェア開発技術などに関する企業事業主団体様のお要望に応じたオーダーメイド型のセミナーを承っています。

人材育成の課題を抱えている皆様のサポートをいたします。

＜ お問い合わせ先 ＞

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機

ポリテクセンター埼玉

〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2-18-8

訓練第二課 TEL 048-882-4003 FAX 048-882-4070

すべては、お客様の「満足」のために

All for Our Customers

ITサービスを通じてお客様の問題解決を図り、ミツイワは社会への貢献を続けています。

ミツイワ株式会社



http://www.mitsuiwa.co.jp

本社
関東営業部東京都渋谷区渋谷3-15-6
埼玉県さいたま市浦和区仲町2-4-1TEL:03-3407-2181
TEL:048-824-5911

三田電子ケイサン株式会社

お電話でのお問い合わせはこちら

☎ 03-5983-8160

人と企業を結ぶ架け橋に—



豊富な求人情報!



充実のサポート!

安心の
アフターフォロー!

一般労働派遣業 許可番号 般 13-090088

印刷

みんなが喜ぶ SANWA の

公用封筒に広告を載せてみませんか!

SANWA

地域社会貢献 三方よし 広告印刷

- ・役所公用封筒
- ・広告入り公用封筒
- ・広告入り公用クリアファイル
- ・ダイレクトメール印刷
- ・イラスト名刺・3D名刺
- ・フルカラー封筒、はがき
- ・カタログ・会社案内

- ・コンピュータ帳票
- ・OCR、OMR帳票
- ・圧着はがき
- ・ラベル・シール
- ・感熱ロール・レジロール
- ・OAサプライ用品
- ・トナー・リサイクルトナー

- ・ユニフォームプリント
- ・タペストリー・のぼり・のれん・うちわ
- ・飲食店メニュー・ショップカード
- ・小ロットカラーチラシ・リーフレット
- ・大判ポスター
- ・OAファニチャー

●ポリオ(小児まひ)撲滅運動に協力しています。

- ・クリアファイル
- ・ホームページ作成
- ・各種カード
- ・各種贈答品
- ・ノベルティ商品(販促品)
- ・事務用品・事務機器
- ・看板、デジタルサイネージ 他

株式会社 三和システム
http://www.sanwa-s-f.co.jp/■ 本社 〒342-0001
埼玉県吉川市上内川228番地1
TEL 048(992)0809(代)
FAX 048(992)1015■ 営業本部 〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-1-10
カネヒロビル 8F
TEL 03(5833)3800

経営戦略に基づいたシステムの立案から構築、運用・保守まで、あらゆるご要望に対して最適なサービスをご提供します。



株式会社 フジミツウ埼玉

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 4-252 ユニオンビル 2 階
TEL : (048) 647-9200 FAX : (048) 647-9206
URL : http://www.saitama.fujimic.com/



- データエントリーサービス
- ファシリティマネジメントサービス
- ソフトウェア受託開発

株式会社 埼玉電算センター

本 社 〒360-0846 熊谷市拾六間770 TEL 0485-33-3551

事業所 熊谷・大宮・坂戸・新潟

Eメール info@sd-inc.co.jp <http://www.sdc-inc.co.jp/>

・ 産業界の求める人材を育成

学校法人中央情報学園グループ校



中央情報専門学校

Chuo Computer and Communication College

先端技術を担う人材を育成し25年

■IT プロフェッショナル学科 ■情報システム学科 ■Web ビジネス学科 ■日本語本科
352-0001 埼玉県 新座市 東北 2-3-10 TEL 048-474-6651 FAX 048-475-1814

URL <http://www.ccmc.ac.jp/>



Waseda-Bunri College of Arts and Sciences

早稲田文理専門学校

国際社会で活躍するクリエイティブな人材を教育

■ビジネス起業経営学科 ■日中英通訳学科 ■IT モバイル学科

■ゲーム・アニメ制作学科 ■組み込みソフトウェア学科

171-0033 東京都 豊島区 高田 2-6-7 TEL 03-5960-2611 FAX 03-5960-2622

URL <http://www.wbc.ac.jp/>

Your IT Partner

ともに解決し、ともに築く。

40年の実績と 先進のIT技術で 信頼の ソリューションを。

AGSは、さいたま・東京を拠点に40年の歴史を持つ、ITソリューションパートナーです。データセンター「さいたまiDC」、 「AGS」クラウドαなどの最新設備や技術はもちろん、豊富なノウハウ、柔軟な発想とキメ細かな対応で、お客様と共に問題を解決し、成長と成功を築きます。



AGS
CORPORATION

AGS株式会社 本社:〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL:048-825-6000 FAX:048-822-7337 www.ags.co.jp **AGS** **検索**



INET
urawa
株式会社アイネット

株式会社アイネット (urawa)

TEL: 048(839)5777 FAX: 048(839)5788

〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-10-1
ラムザタワー4階

URL: <http://www.inetweb.co.jp/>

- ソフトウェアの設計、製造、システムの管理、運営、業務
- ソフトウェア等の入出力データの作成業務
- ソフトウェア等に関するコンサレーション

@ホームな職場です
そして社員一人一人がさわやかです
さあレッツ!!! アクセス!!!



損害保険代理店 生命保険代理店

SISIA グループ保険の総合窓口 048-827-5077(24時間対応)

株式会社デマンドアンドコミュニケーションズ

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤1-2-24-1301

協会加入の
おあめ

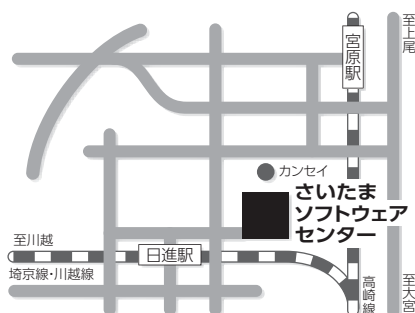
会員募集中

公益社団法人として、地域経済振興、情報高度化に向けて積極的な活動を推進しております。新たなステップに向けて仲間を募集しております。

会員企業並びに関連団体の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会



住 所

〒331-0823
埼玉県さいたま市北区日進町
2丁目1864-10 SSC 5F
TEL 048-660-1761
FAX 048-654-4504

URL

<http://www.sisia.or.jp/>

<IT なんでも相談室>

経済振興・経営革新に IT 利活用が大きな課題となっております。

政府・県も様々な IT 関連施策を計画しておりますが、当協会でも中小企業の皆様の IT に関するお悩み、IT 投資など様々な問題についてご相談に応じます。

場所：〒331-0823 さいたま市北区日進町2丁目1864-10
公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会 事務局内

受付相談 専用電話 048(660)1788



編集後記

今年の暑さはいつまで続くのでしょうか、10月として初の猛暑日を記録したり秋本番の装いをするにはまだまだ暑い日が続きそうです。でも、「暑い暑い」って言ってるうちに冬が到来しそう…、それはそれで嫌ですね。

さて、9月末に初めてミャンマー・ヤンゴンを訪れる機会がありましたので、少しご紹介いたしましょう。日本の主要輸出品目は、乗用車・バス・トラックなどということで、街中を走る車の大部分が日本の中古車であることに驚きました。バスは、日本語の塗装をしたまま走っており、日本車の信頼の証でもあるようです。ミャンマー人の人柄は、勤勉、穏やかで優しく感じられました。また、低廉かつ豊富な労働力はチャイナ・プラスワンとしての候補地であると思われます。しかし、社会インフラは脆弱であり社会インフラの未整備にどう立ち向かうか、

また、独特の政治的事情など大きな課題と言えそうです。

アジア各国の IT 業界団体を束ねる「ASOCIO」の年次総会は、毎年アジアの国にて持ち回りで行われます。グローバル化を目指す日本企業にとって、世界の人口の60%が集中する「アジア」の重要性はますます高まっています。今回、「ASOCIO ICT サミット 2013」が開催されたタイは、中国と違って現地進出している IT 企業はまだ少なく、ビジネスチャンスがあると言えます。グローバル化が進む21世紀の世界において、タイだけでなく、ベトナムやカンボジア、ラオス、バングラデシュ、フィリピンも一度訪問してみたいかたがでしょうか。
(深澤 陽平)

SAI-PRESS 編集委員

岩 寄 正 (TS サービス)
内 田 陽 一 (協会事務局長)
小 川 智 之 (関東図書)
田 沼 耕 三 (協会専務理事)
平 野 友 紀 (メディア工房)
編集長 深 澤 陽 平 (蓼科情報)
松 島 勲 (デマンドアンドコミュニケーションズ)
吉 野 曠 男 (AGS システムアドバイザー)
矢 吹 武 重 (ミツイワ)

★サイプレス年間広告掲載料

◇1頁 24万円 ◇1/2頁 12万円
◇1/4頁 6万円 ◇賛詞広告 1.5万円
(以上モノクロ。カラーは1頁30万円のみとなります)

★ホームページバナー広告 (会員の場合)

◇6ヶ月 5千円 ◇1年間 1万円
サイズ 156×46ピクセル
容量 15KB 以内

(いずれもデータ支給の場合。協会制作の場合は別途料金申し受けます。)